

薬の知識

3月12日付で取り上げました「薬剤耐性菌」に関する質問をいただきましたので、今月はその質問への回答をさせていただきます。

質問1 抗生物質と抗菌薬は違うのですか。

抗生物質と合成抗菌薬のことをまとめて、抗菌薬と呼びます。抗生物質は、カビなどの微生物から発見された菌を殺すもしくは繁殖を抑える物質を薬にしたもので、代表的なものはペニシリンです。一方、合成抗菌薬は、人が化学合成して作った抗菌力のある薬で、代表的なものはキノロン系薬と呼ばれる薬です。抗生物質と合成抗菌薬、いずれにしても菌の繁殖を抑える薬です。

質問2 以前、風邪が治ったあと肺炎にかかり、今までにない、きつさやだるさを経験しました。高齢になると免疫力が低

細菌性感染症に処方

20. 抗生物質と抗菌薬

下し、抗生物質を服用した方がよい場合があるのでは。おっしゃる通りです。一般的に風邪と呼ばれる症状を引き起こす原因の9割はウイルスで、「ウイルス」は「菌」ではありませんので、紙面でもお伝えしましたとおり「抗菌薬」を飲んでも意味がありません。ただ、残る1割は肺炎などの細菌性の

もので、こうしたケースでは医師は抗生物質を処方します。ここで注意してほしいのは、症状が治まったからといって自己判断で服用を中止しないことです。抗菌薬を中途半端に使うと、耐性菌を増やす原因になり、重

症化を招く可能性が高まります。患者さんは最後まできちんと服薬して治療を完結することが大切です。

薬剤師は、薬局をはじめ、病院・診療所、行政機関、研究機関、卸売業など様々な施設や機関に勤務しており、日頃より住民のみなさまの健康・福祉の増進、ならびに学校保健、学校環境衛生の向上発展に寄与するなどの活動も行っています。健康相談の窓口として地域の薬剤師をかりつけ薬剤師としてご利用ください。

（鹿児島県薬剤師会会長・上野 泰弘、副会長・福岡龍一）



自己判断で服薬を中止せず、薬剤師に気軽に相談を

2019（令和元）年5月14日掲載